

2024年度第2四半期 決算説明資料

京都長岡京が本社の
総合物流機器メーカー



ロジスネクストのソリューションが世界の物流を支えています



2024年11月27日
三菱ロジスネクスト株式会社

Logisnext

2024年度第2四半期 決算概要

三菱ロジスネクスト株式会社
取締役 上席執行役員 CFO 宇野 隆俊

1. 24年度第2四半期決算のポイント

フォークリフト 市場環境

- 国内の需要は引き続き安定的・堅調に推移
- 米州は代理店在庫の調整局面が徐々に解消に向かいつつあるものの、想定よりも長引いている。一方、欧州・アジア・中国の需要は伸び悩んでいる状況

当社の状況

- 課題であったリードタイムを正常化させ、価格適正化による収益性の改善も進めながら、安心・安全、自動化・自律化、脱炭素といった物流機器市場のニーズの高まりにも応えている
- 北米におけるエンジン認証遅延による一部機種の出荷停止については、当局との調整の結果、主力機種の出荷を再開して引き続き挽回に努めている

業績概要

- 売上高は、価格適正化効果や為替の円安影響があったものの、北米でのエンジン認証遅延による影響に加えて、代理店における在庫調整もあり、前年同期比で減収
- のれん等償却前営業利益は、米州での売上減少影響等により、前年同期比で減益
- 中間純利益は、土地の売却益があったものの、前年同期の税効果計上等による税金費用減少の反動と、当期の中国販売子会社の譲渡に伴う売却損計上により、前年同期比で減益

売上高
3,285.4億円
YoY -4.4%

営業利益(※)
207.4億円
YoY -25.4%

中間純利益
99.7億円
YoY -39.8%

2. 決算ハイライト

(単位：億円)

	FY23 2Q	FY24 2Q	前年同期比増減	
売上高	3,437.7	3,285.4	-152.2	-4.4%
営業利益 (のれん等償却前) (営業利益率)	278.1 8.1%	207.4 6.3%	-70.7	-25.4%
のれん等償却	50.7	52.9	—	—
営業利益 (営業利益率)	227.3 6.6%	154.4 4.7%	-72.9	-32.1%
経常利益 (経常利益率)	210.6 6.1%	123.3 3.8%	-87.2	-41.4%
親会社株主に帰属する 中間純利益 (中間純利益率)	165.6 4.8%	99.7 3.0%	-65.8	-39.8%
自己資本比率	22.0%*1	22.9%		
ROE	28.6%*1	17.0%*2		
為替レート				
USD	141.00円	152.61円		
EUR	153.39円	165.92円		
CNY	19.75円	21.15円		

*1 FY23通期の数値

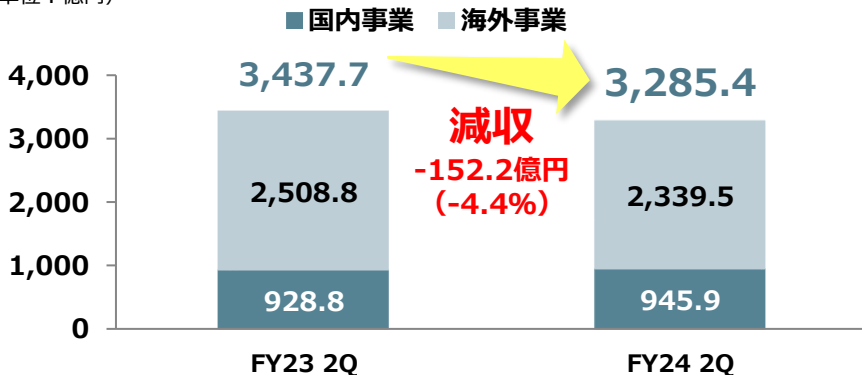
*2 年換算して算出

3. セグメント別業績

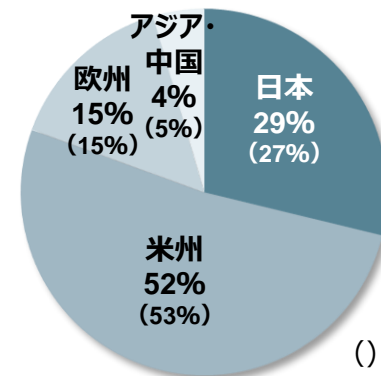
売上高

- 国内事業は、受注が堅調に推移する中、価格適正化の効果も寄与したことから前年同期比で増収
- 海外事業は、為替の円安影響はあったものの、北米での一時出荷停止の影響に加え、地域によっては市場の減速もあり、前年同期比で減収

(単位：億円)



FY24 2Q 地域別内訳

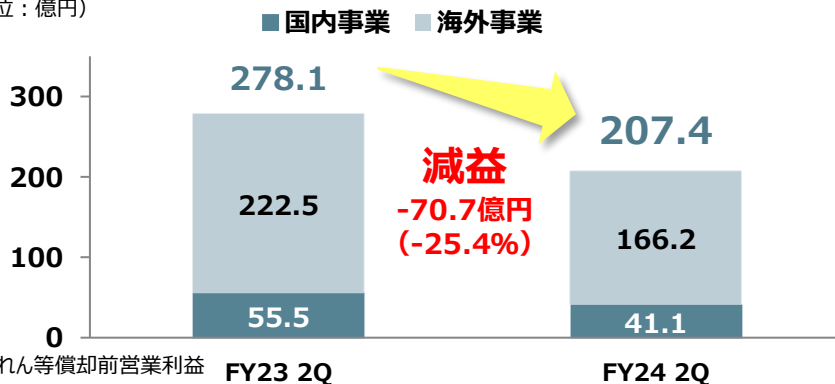


() は前年同期実績

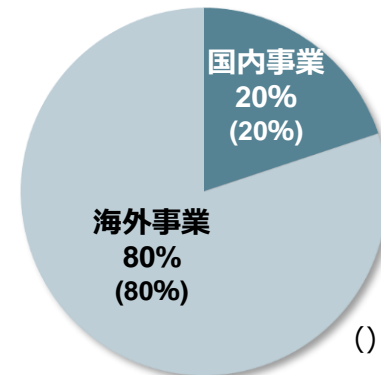
営業利益(※)

- 国内事業は、国内販売においては堅調に推移しているものの、海外生産拠点からのライセンス収入の減少や研究開発費等の経費の増加もあり、前年同期比で減益
- 海外事業は、前年同期は米州を中心とした受注残の解消や価格適正化効果の寄与もあり利益が大きく伸長したが、当期は北米での一部機種の一部出荷停止や欧州やアジアでの市場減速等が響き、前年同期比で減益

(単位：億円)



FY24 2Q セグメント別内訳

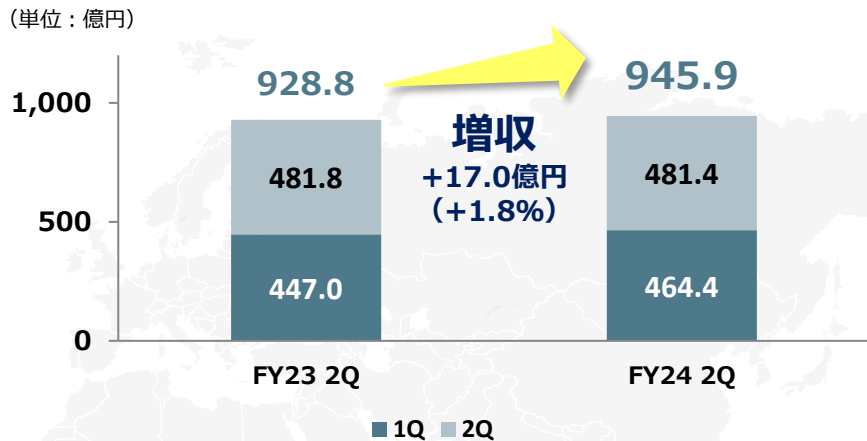


() は前年同期実績

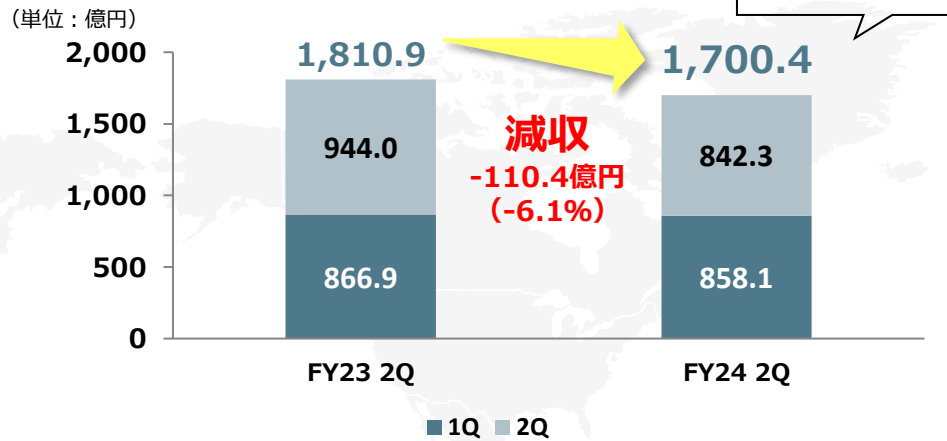
(※)のれん等償却前営業利益

4. 地域別売上高 (為替影響含む)

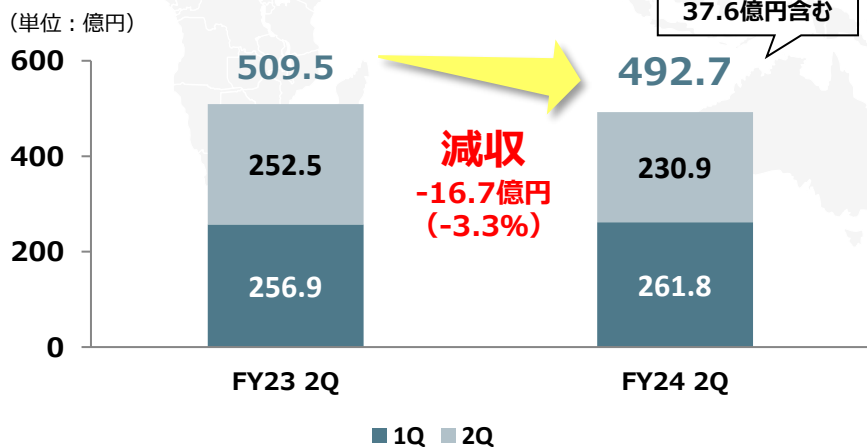
日本



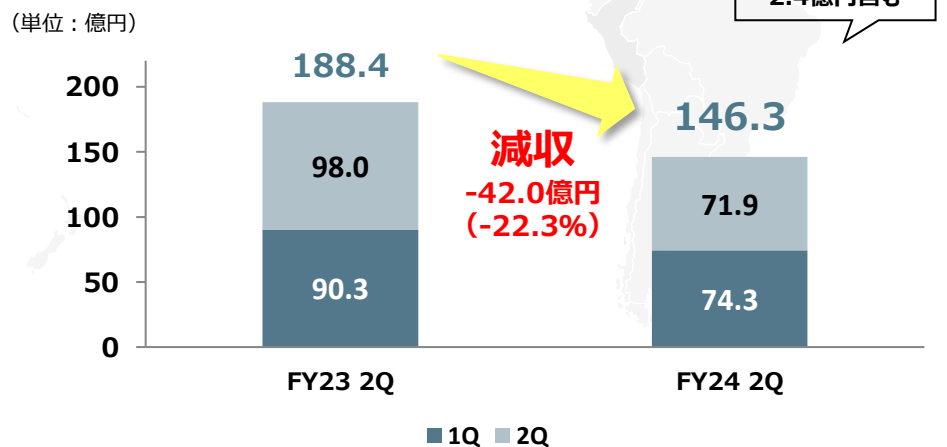
米州



欧州



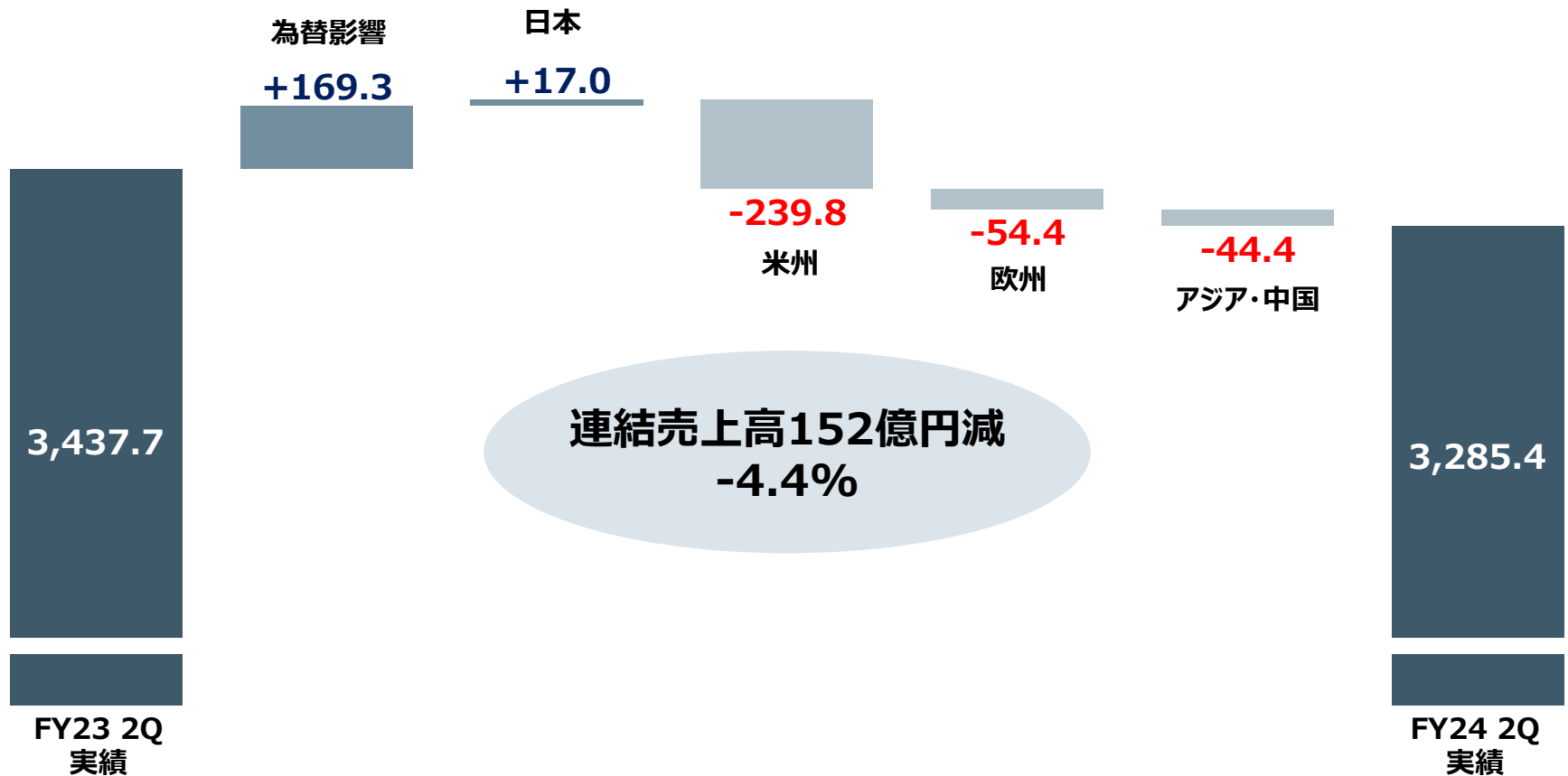
アジア・中国



5. 連結売上高増減要因 (前年同期実績対比)

- 日本は堅調に推移し前年同期比で増収。海外は、円安進行による為替影響が寄与したものの、前年同期比では北米での一時出荷停止や、欧州・アジアでの市場減速もあり、全ての地域で減収

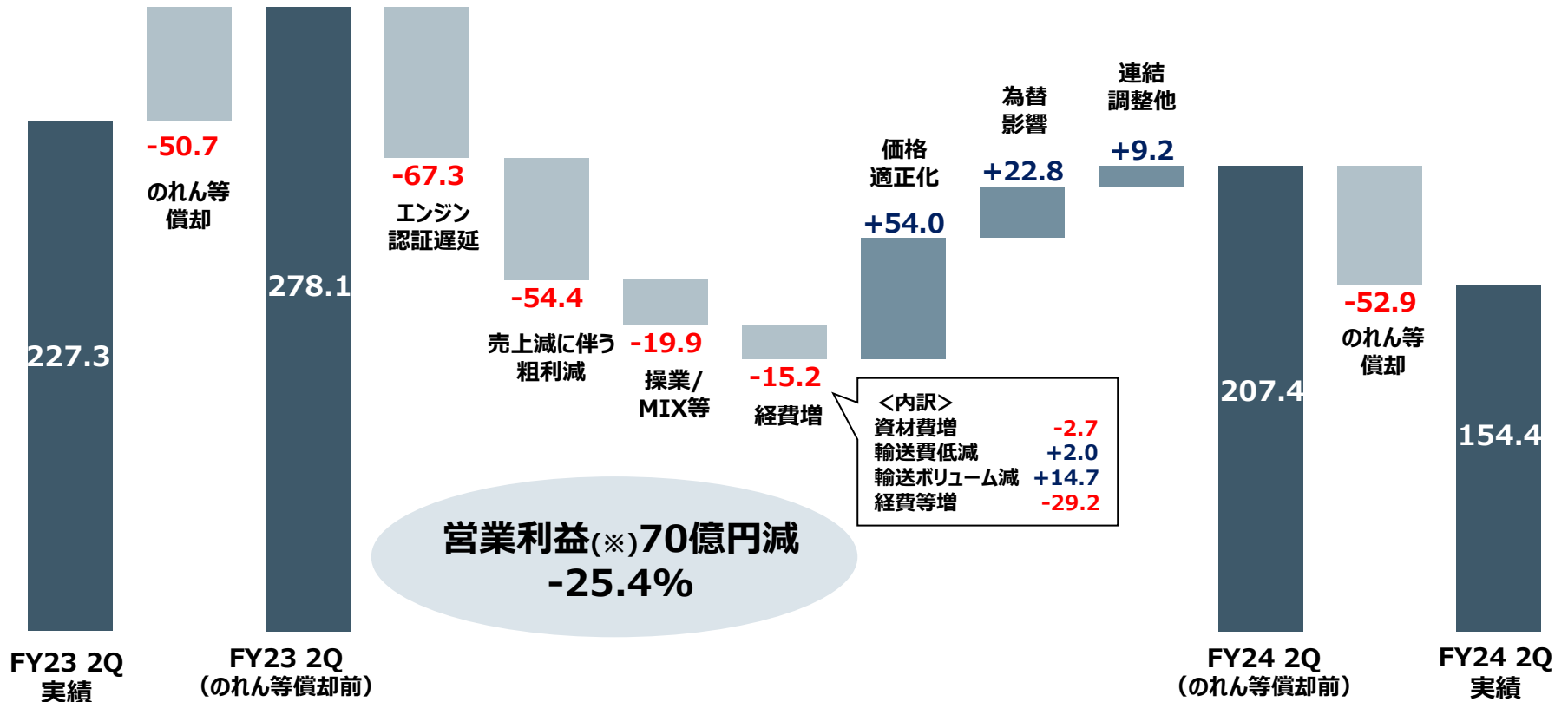
(単位：億円)



6. 連結営業利益^(※)増減要因 (前年同期実績対比) Logisnext

- 価格適正化の効果、為替の円安影響が寄与したものの、北米での一時出荷停止や代理店の在庫調整の長期化、欧州・アジアの市場減速に伴う売上減少、経費増等が響き、前年同期比で減益
- 米州エンジン認証問題への対応費用や、一時出荷停止による操業度の低下が響いた

(単位：億円)



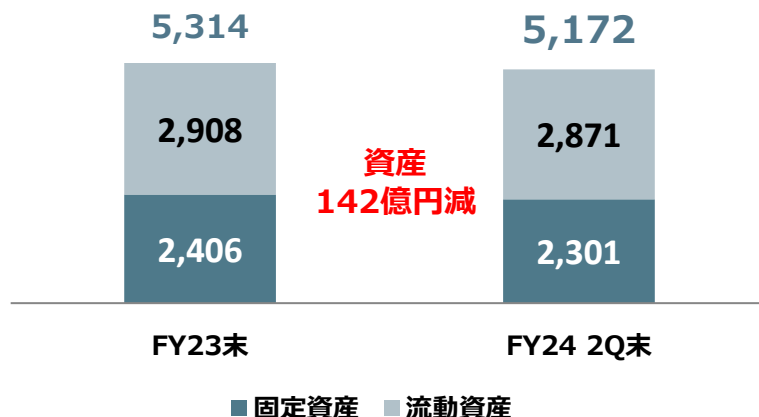
(※)のれん等償却前営業利益

7. 連結貸借対照表

- 為替相場が中間期末時点では一転円高になったことで為替換算調整勘定の減少があったものの、中間純利益の獲得による利益剰余金の増加があったことで、自己資本比率は22.9%と若干良化

(単位：億円)

資産



項目	FY23末	FY24 2Q末	増減
流動資産	2,908	2,871	-36
（有形固定資産）	1,791	1,748	-42
（無形固定資産）	338	273	-64
（投資その他）	276	279	+2
固定資産計	2,406	2,301	-105
資産合計	5,314	5,172	-142

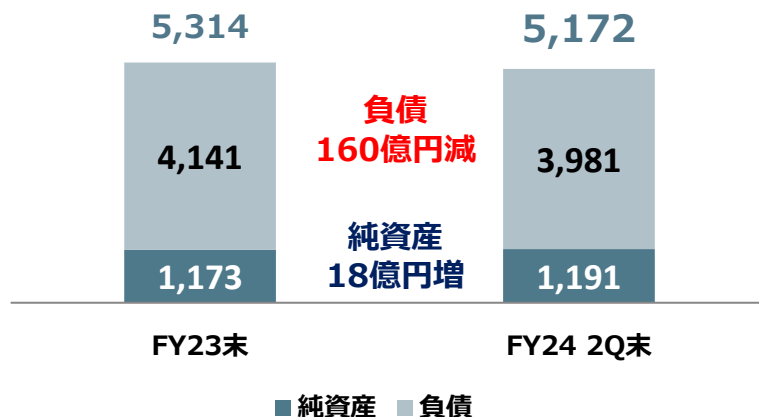
流動資産：減

為替の換算影響、棚卸資産の増加、売上債権の減少等

固定資産：減

為替の換算影響による減少等

負債／純資産



項目	FY23末	FY24 2Q末	増減
流動負債	2,133	2,010	-123
固定負債	2,007	1,970	-37
負債合計	4,141	3,981	-160
純資産計	1,173	1,191	+18
負債・純資産合計	5,314	5,172	-142

負債：減

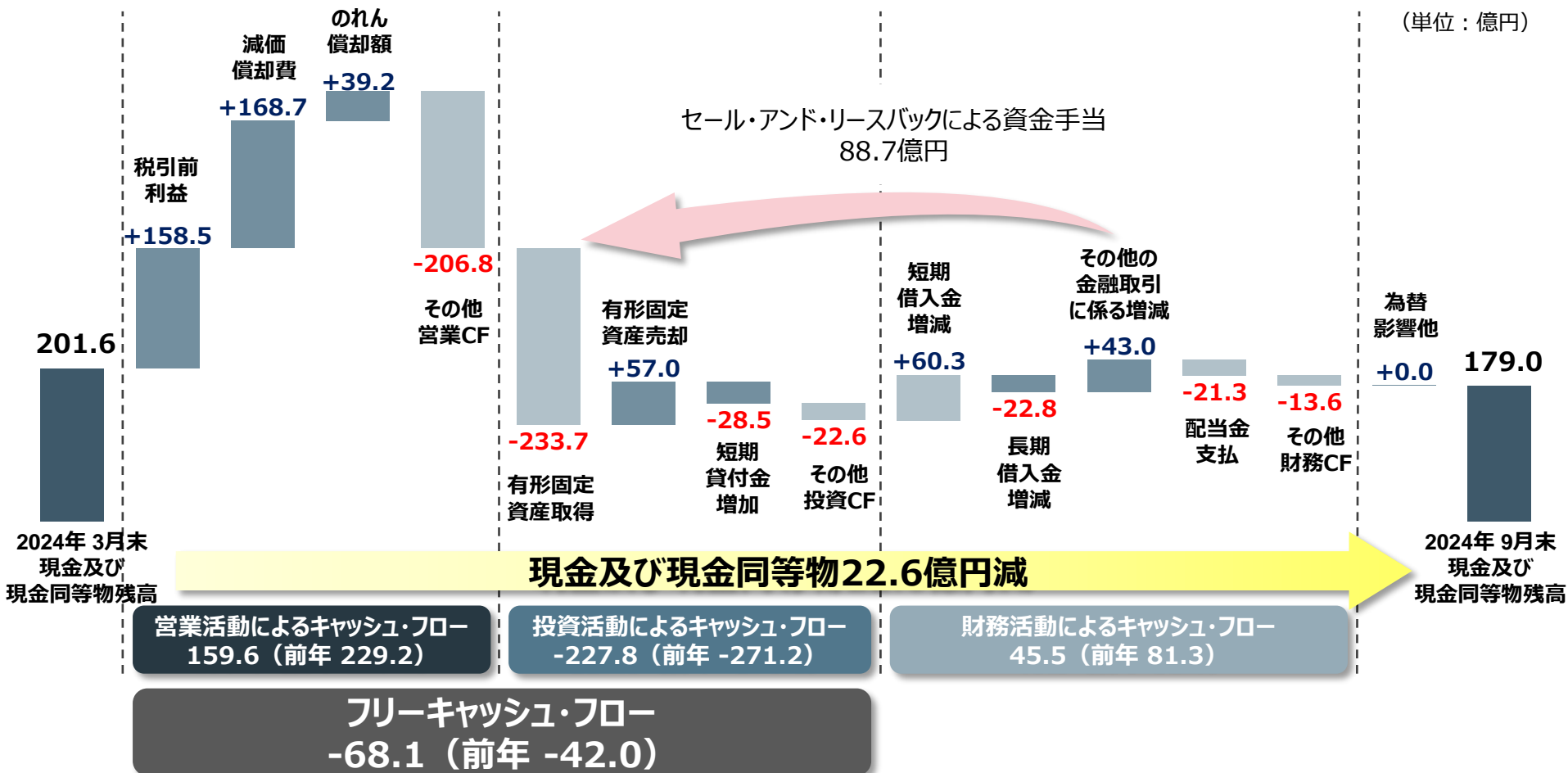
為替の換算影響による減少、買掛債務の減少等

純資産：増

利益剰余金の増加、為替換算調整勘定の減少

8. キャッシュ・フローの状況

- 営業C/Fは税引前利益の減益、運転資本の悪化により159.6億円と前年同期より悪化
- 投資C/Fは土地の売却があったことで-227.8億円と前年同期より好転
- フリーC/Fは営業C/Fの悪化により-68.1億円



【参考資料】主な経営指標

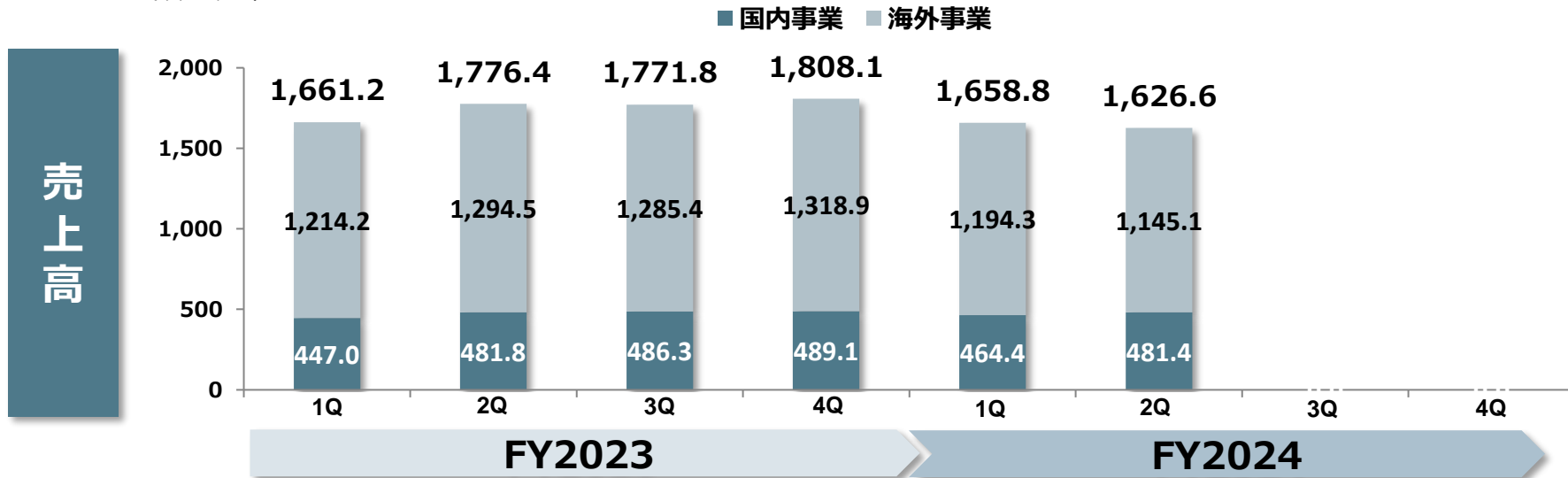
	指標	算式	FY23		FY24 2Q ^{*1}		コメント
				のれん等償却前*2		のれん等償却前*2	
総合	総資本利益率 (ROA)	$\frac{\text{中間純利益}}{\text{総資本}}$	5.5%		3.8%		前年同期の評価性引当額の取崩し等による税金費用減少の反動と当期の中国販売子会社の譲渡に伴う売却損の計上により、指標が悪化
	自己資本利益率 (ROE)	$\frac{\text{中間純利益}}{\text{自己資本}}$	28.6%		17.0%		
収益性	売上高営業利益率	$\frac{\text{営業利益}}{\text{売上高}}$	6.1%	7.5%	4.7%	6.3%	米州での売上減等が響き、指標が悪化
	売上高中間純利益率	$\frac{\text{中間純利益}}{\text{売上高}}$	3.9%	5.3%	3.0%	4.5%	中間純利益の減少により、指標が悪化
効率性	総資本回転率	$\frac{\text{売上高}}{\text{総資本}}$	1.4回		1.3回		
	売上債権回転率	$\frac{\text{売上高}}{\text{売上債権}}$	7.3回		7.3回		
	棚卸資産回転率	$\frac{\text{売上原価}}{\text{棚卸資産}}$	4.5回		3.8回		
安全性	自己資本比率	$\frac{\text{自己資本}}{\text{総資本}}$	22.0%		22.9%		
	D/Eレシオ	$\frac{\text{有利子負債}}{\text{株主資本}}$	2.1倍		2.0倍		
株式関連	1株あたり利益	$\frac{\text{中間純利益}}{\text{発行済株式数}}$	258.06円		187.08円		
	株価収益率 (PER)	$\frac{\text{株価}}{\text{1株あたり利益}}$	7.3倍		6.9倍		株価： 2024年3月末：1,894円 2024年9月末：1,299円
	株価純資産倍率 (PBR)	$\frac{\text{株価}}{\text{1株あたり純資産}}$	1.7倍		1.2倍		

*1 PL項目は年換算して算出

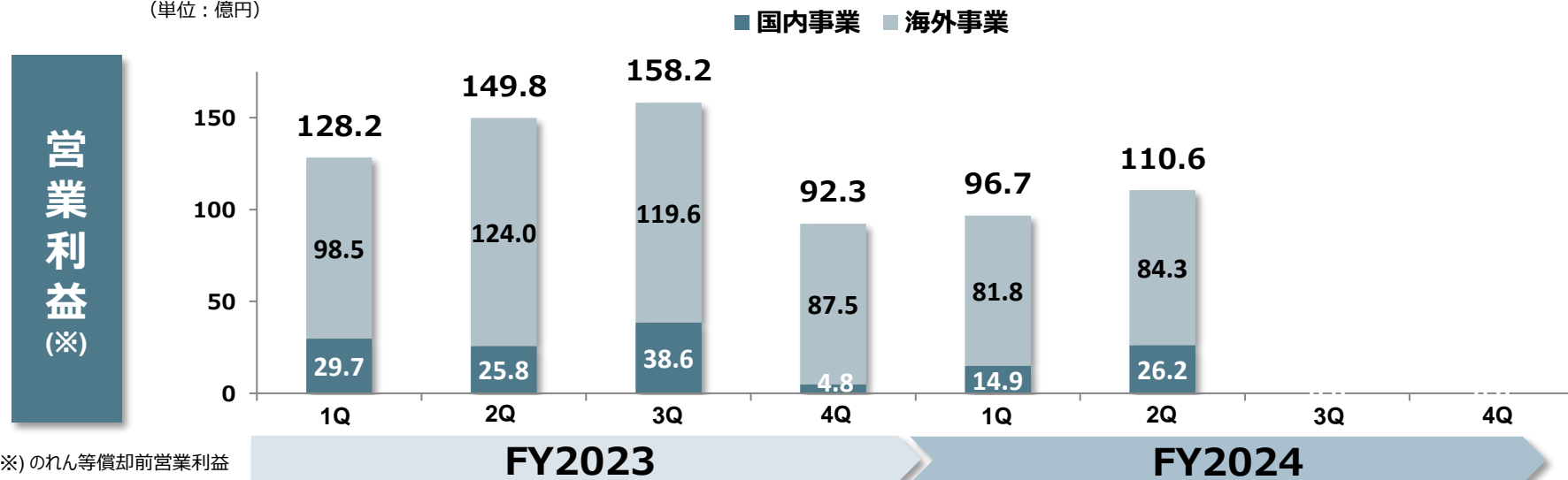
*2 参考値

【参考資料】四半期推移 (セグメント別売上高・営業利益)

(単位：億円)



(単位：億円)

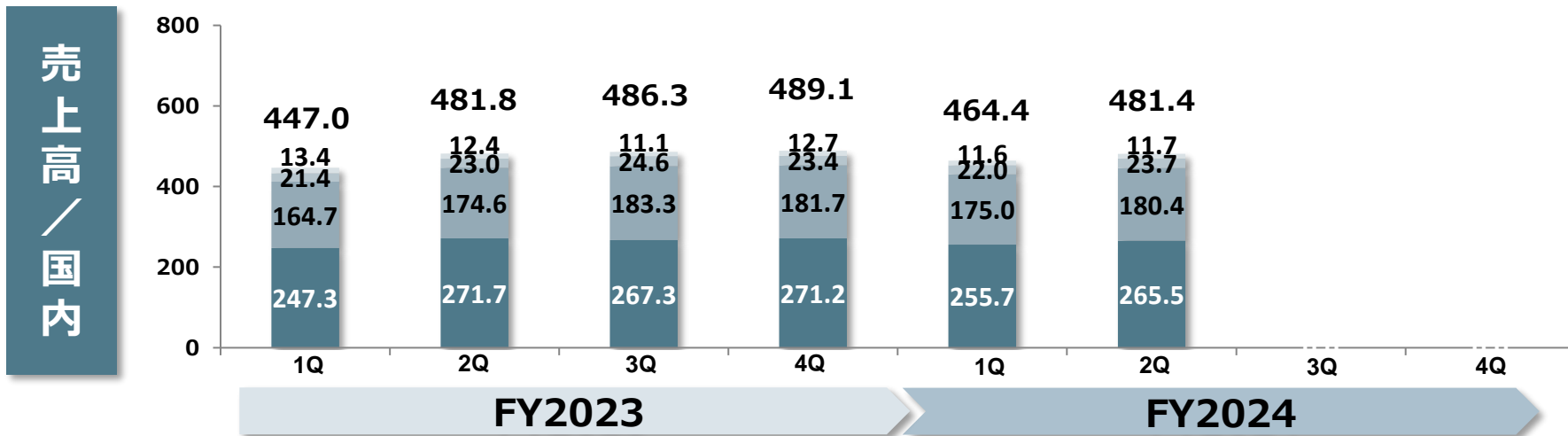


(※) のれん等償却前営業利益

【参考資料】四半期推移 (カテゴリ別売上高)

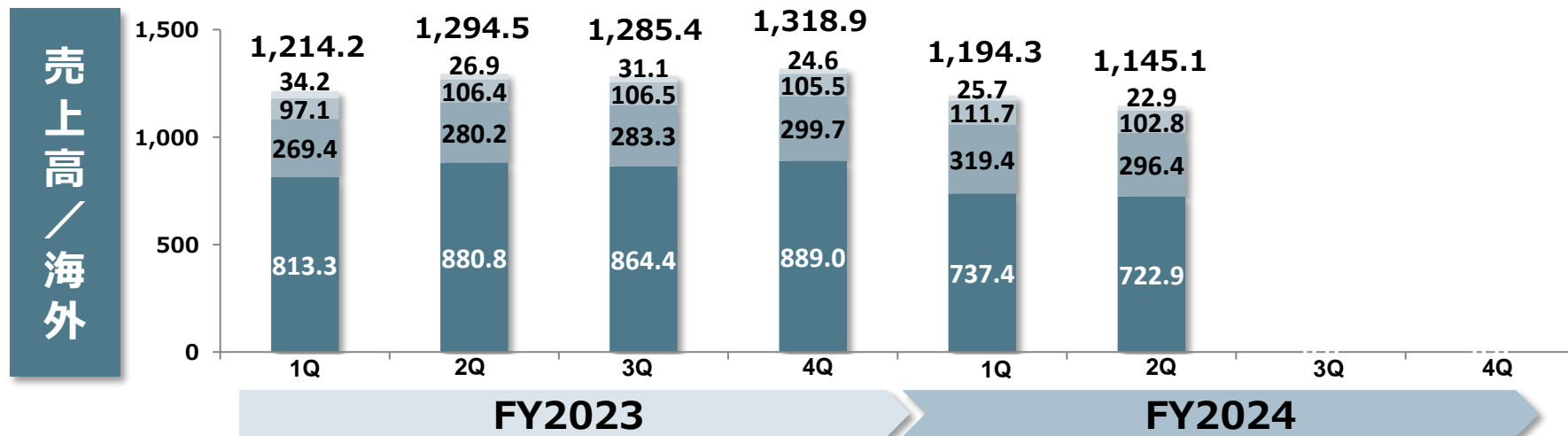
(単位：億円)

■ 製品 ■ アフターサービス ■ リースレンタル ■ その他

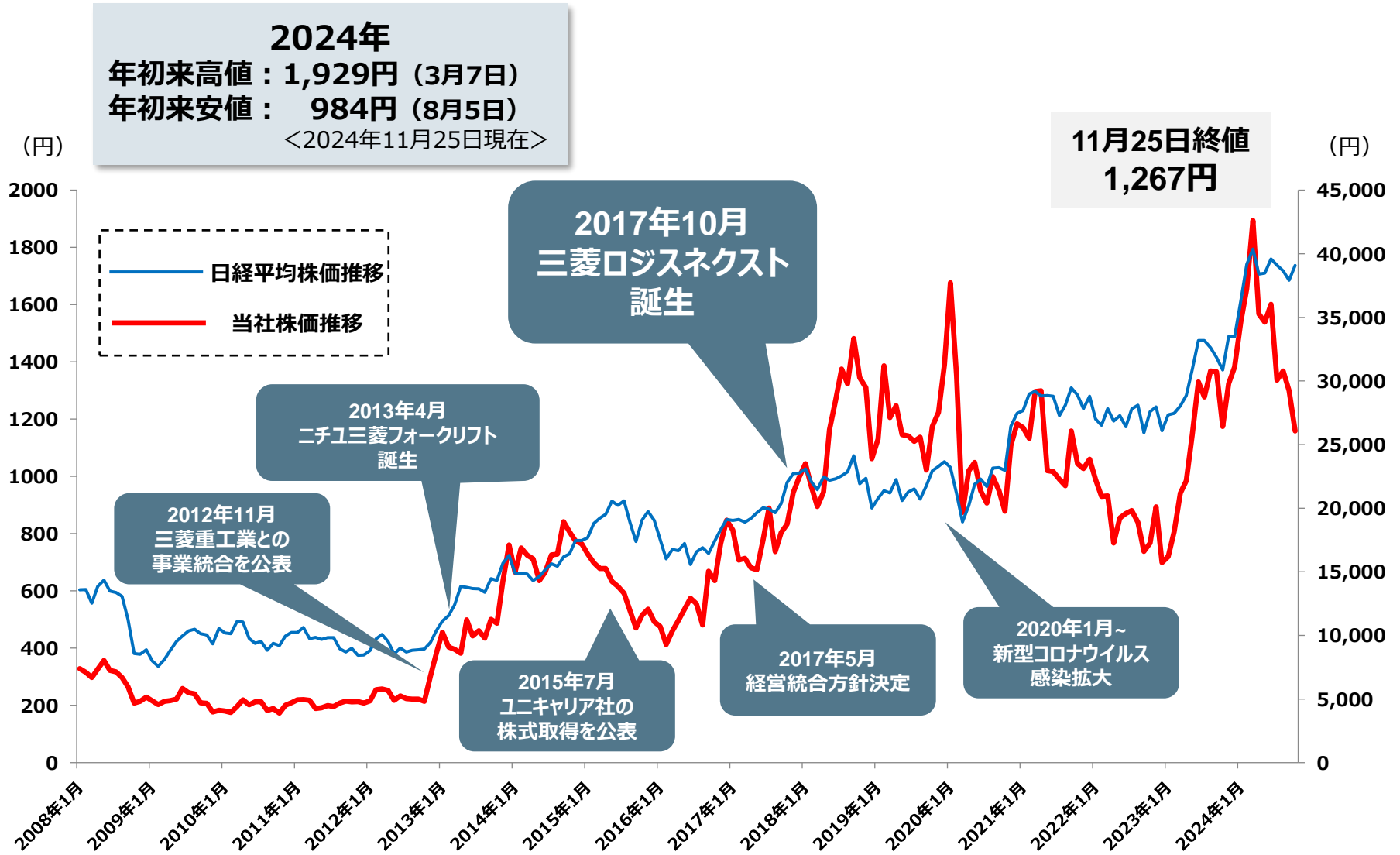


(単位：億円)

■ 製品 ■ アフターサービス ■ リースレンタル ■ その他



【参考資料】株価の推移



中期経営計画『LT26』進捗状況

三菱ロジスネクスト株式会社
代表取締役社長 間野 裕一

1. 24年度業績予想のポイント

フォークリフト 市場環境

- 国内は24年度も比較的堅調に推移する見込み
- 米州は代理店の在庫調整局面が想定より長引いていることに加えて、米国大統領選挙後の動静や地政学的リスクの長期化等による景気の先行き不透明感から、エンドユーザー向け需要も減少しており、24年度は前年同期比で受注が落ち込む見込み
- 欧州は当初予想通り24年度中の回復を見込むものの、アジア・中国は当初予想の24年度中の回復より後ろ倒しとなる見込み

当社の状況

- 米州の一部機種において、エンジン認証遅延により5月以降出荷停止となっていたが、主力機種については7月以降順次出荷を再開。残りの機種については、新型エンジンへの切り替えを進めることとした。新型エンジンの認証手続きは順調に推移しているが、本格的な出荷は第4四半期以降へずれ込む見込み
- 『LT26』取り組みとして、バッテリー車市場拡大を見据えた製品投入や、物流ソリューションの強化に繋がる施策等を推進中

業績予想 概要

- 売上高は、国内市場が堅調に推移したものの、北米における一部機種の出荷停止の影響や代理店在庫調整が想定以上に長引いたことにより期初予想比減収
- のれん等償却前営業利益は、売上高の減少に加え、北米の認証取得に係る一時費用、操業・工数悪化等による影響を、価格適正化の効果や経費抑制でカバーしきれなかったことにより、期初予想比減益
- 当期純利益は、営業利益の減少に加え、中国販売子会社の譲渡損等が響き、期初予想比減益

売上高

6,700億円

期初予想比 -1.5%

営業利益^(※)

370億円

期初予想比 -22.9%

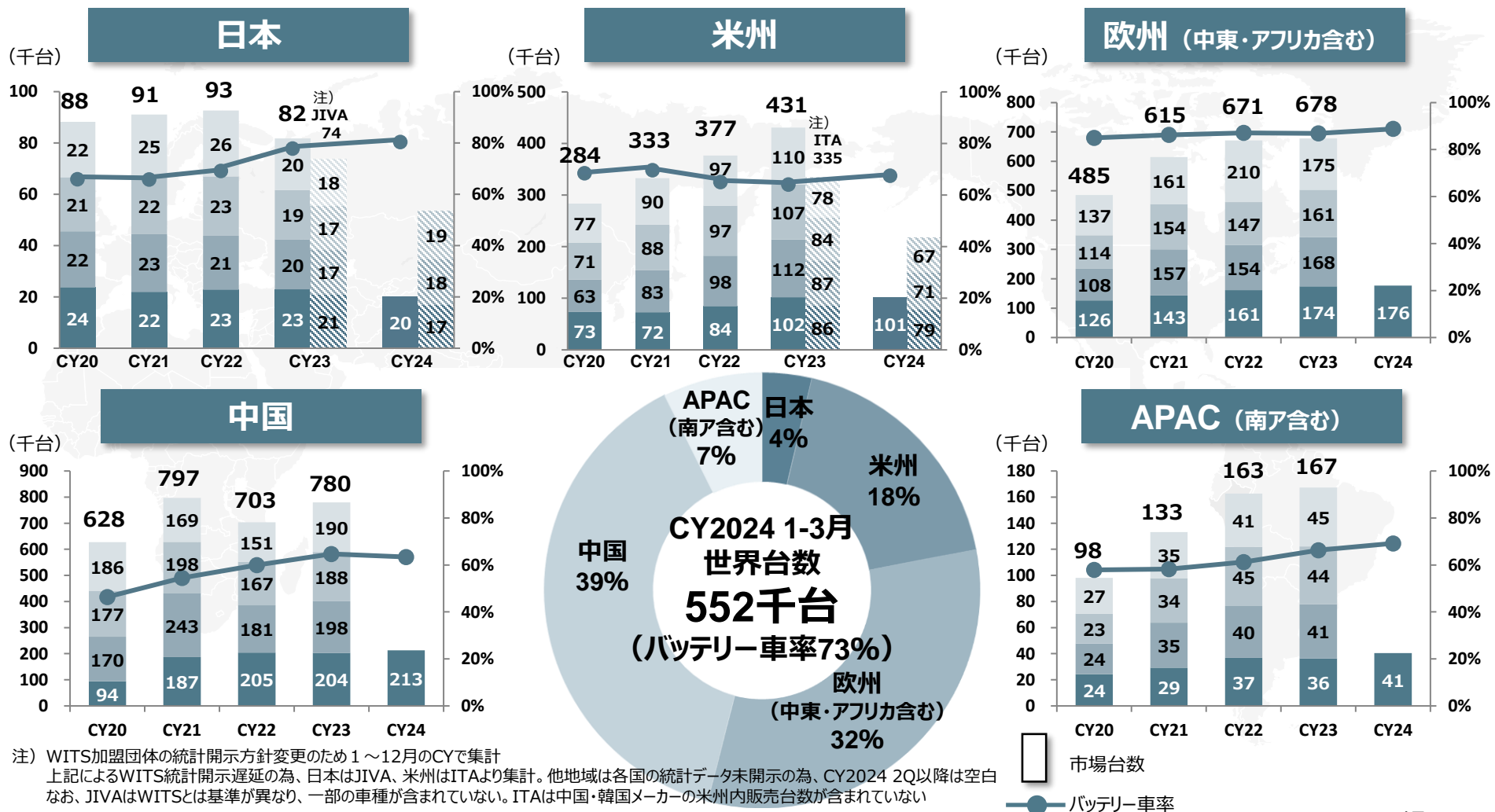
当期純利益

180億円

期初予想比-37.9%

2. 市場環境 / フォークリフト市場動向【出荷】 Logisnext

■ 2024年1~9月において、日本(JIVA統計)は前年同期比で若干減少、米州(ITA統計)は景気減速及び、代理店の在庫調整により出荷は減少傾向

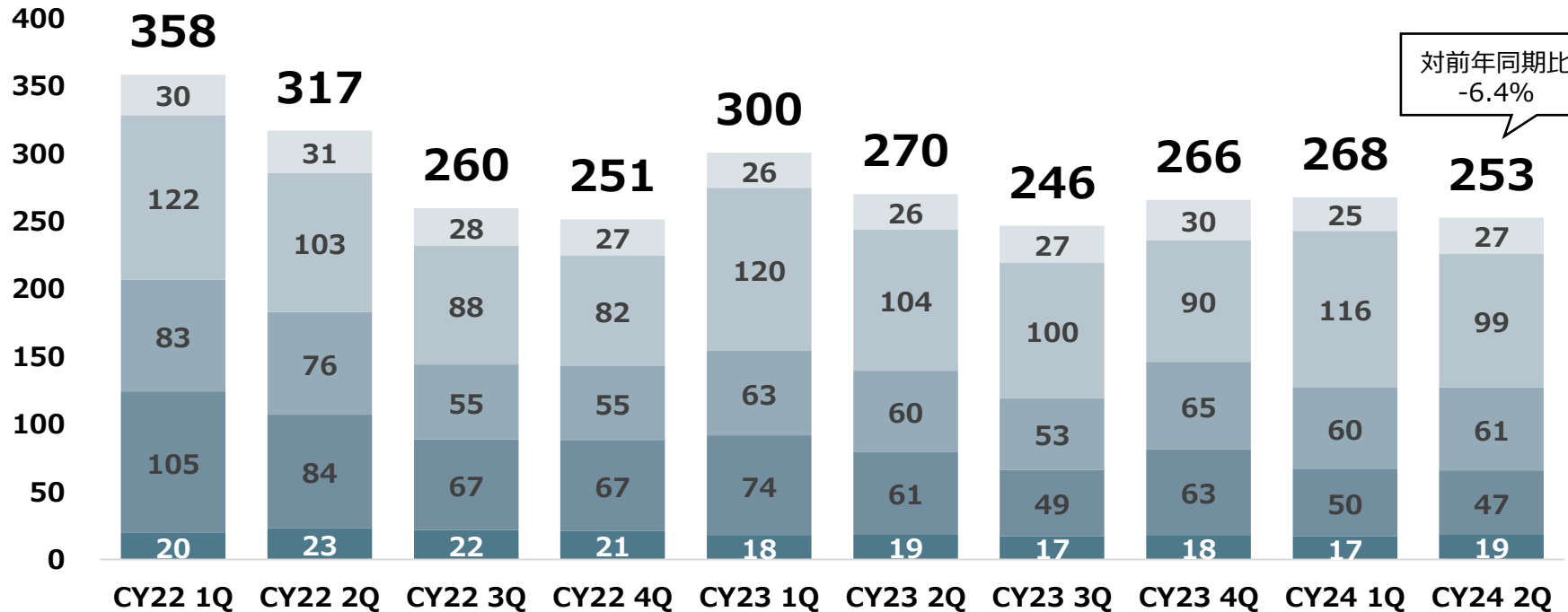


3. 市場環境 / フォークリフト市場動向【受注】 Logisnext

- 市場が一部地域において底打ちの兆しを見せていたが、直近では米州・中国の景気不透明感から弱含みに推移し、前年同期比で-6.4%
- 米州においては、代理店の在庫調整が徐々に収束に向かうことで来期以降受注の回復を見込む

(単位：千台)

受注台数 (ClassⅢ(※) 除く)



対前年同期比
-6.4%

(※) ClassⅢ：自走式電動小型リフト

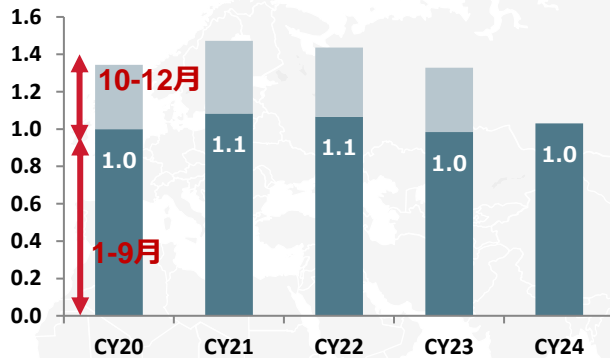
注) WITS加盟団体の統計開示方針変更のため1～12月のCYで集計

© MITSUBISHI LOGISNEXT CO., LTD. All rights reserved.

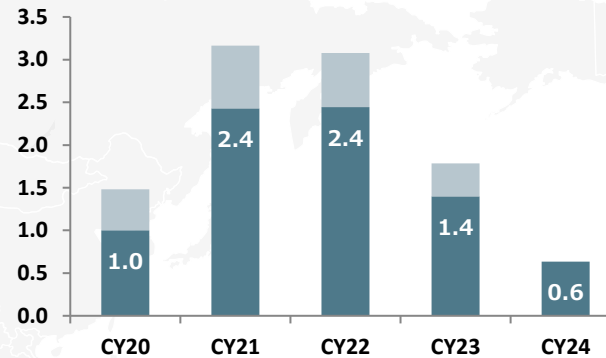
4. 当社受注状況（指数表示）

■ 日本は比較的堅調に推移。海外は、欧州で底打ち感が見えるものの、特に米州において代理店の在庫調整による新規受注の落ち込みもあり、前年同期比で減少

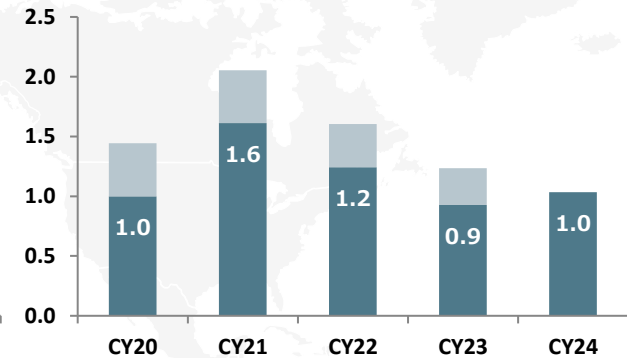
日本



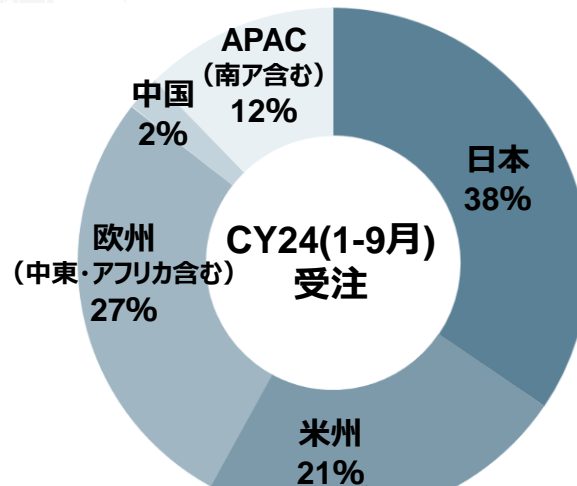
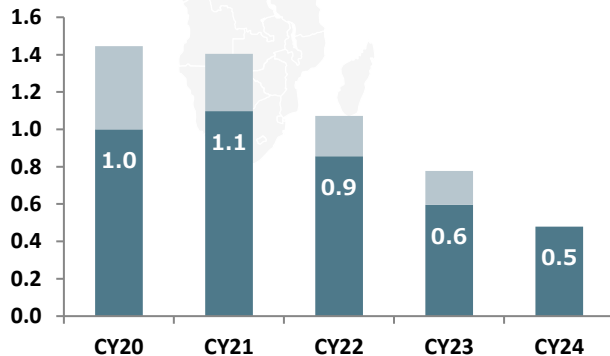
米州



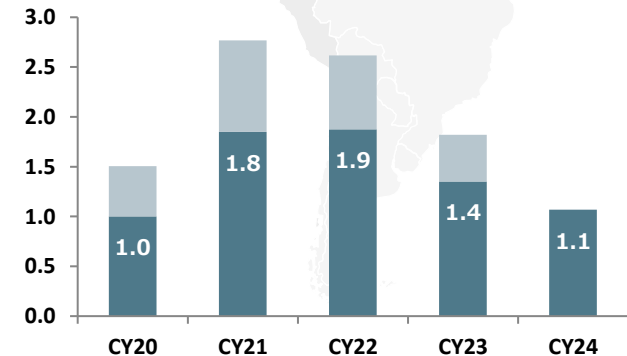
欧州（中東・アフリカ含む）



中国



APAC（南ア含む）



注) CY2020 1-9月=1として指数化。小数点以下の差により、同じ数値表記であっても見かけ上グラフの高さに違いが生じることがある
© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

5. 北米でのフォークリフト一部機種出荷停止の件 Logisnext

- 北米の一部機種において、エンジン認証遅延により5月以降出荷停止となっていたが、出荷停止となっていた主力機種（該当機種の6～7割相当）については当局*1との調整の結果、7月以降順次出荷を再開
- 残りの機種（該当機種の3～4割相当）については、新型エンジンへの切り替えを進めることとしたが、新型エンジン搭載車の本格的な出荷は第4四半期以降になると想定しており、今期については当初の想定より出荷台数が落ち込むこととなる
- 新型エンジンの25年認証手続きは順調に推移しており、一部機種出荷停止の影響は今年度のみにと留まると想定している
- 本件に関し、今後開示すべき事項が生じた場合は、速やかに開示する

FY24 上期実績

エンジン認証未取得による影響台数

約3,200台

*1: アメリカ合衆国環境保護庁（United States Environmental Protection Agency）

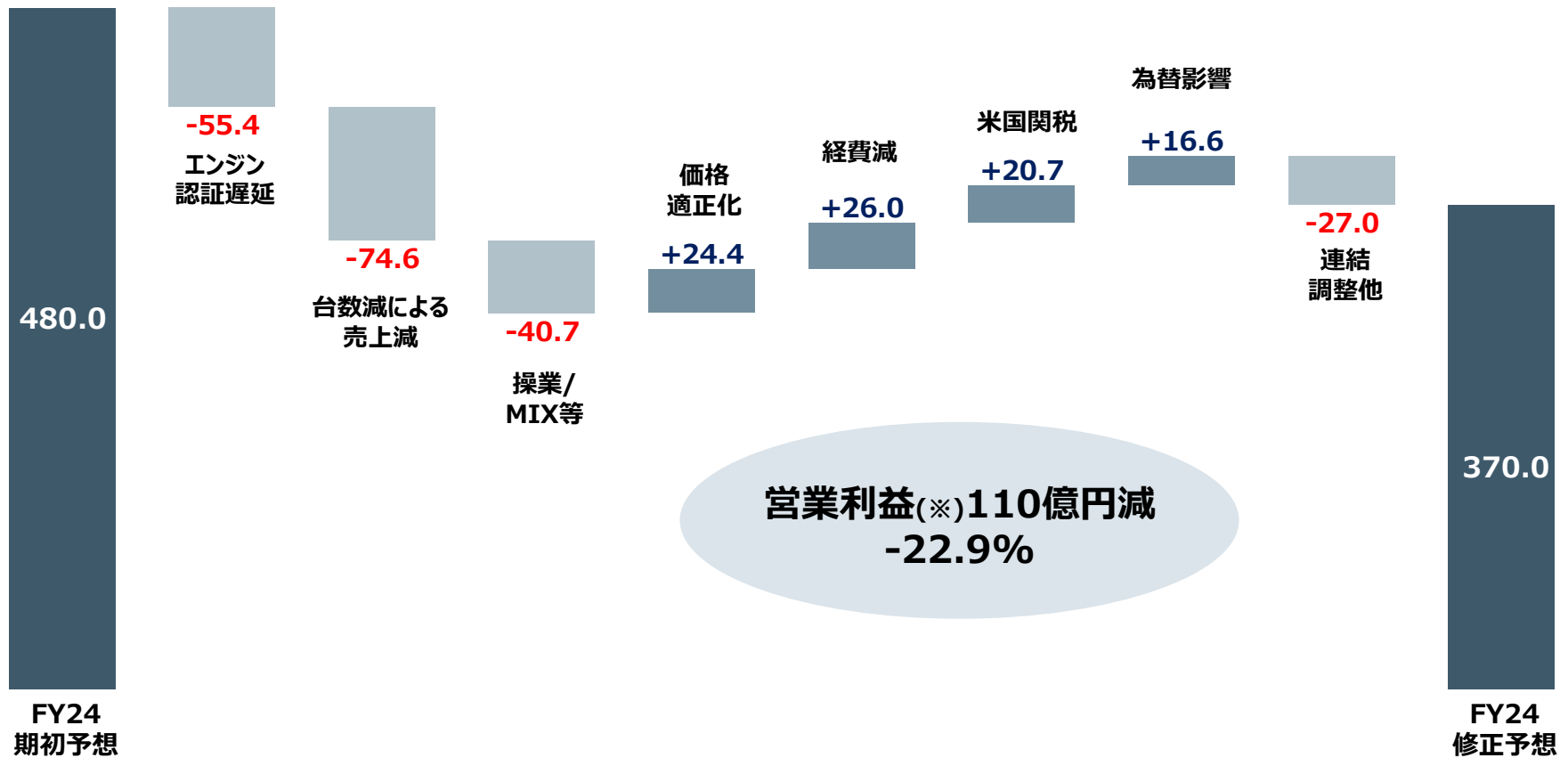
6. 24年度業績予想（修正）

(単位：億円)	FY23実績	FY24期初予想 (2024.5公表)	FY24修正予想 (2024.11公表)	期初予想 VS 修正予想増減	
販売台数	110千台	104千台	92千台	-12千台	-
売上高	7,017.7	6,800	6,700	-100	-1.5%
営業利益（のれん等償却前） （営業利益率）	528.7 (7.5%)	480 (7.1%)	370 (5.5%)	-110	-22.9%
のれん等償却	102.7	100	100	-	-
営業利益 （営業利益率）	426.0 (6.1%)	380 (5.6%)	270 (4.0%)	-110	-28.9%
経常利益 （経常利益率）	374.7 (5.3%)	330 (4.9%)	210 (3.1%)	-120	-36.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益（当期純利益率）	275.2 (3.9%)	290 (4.3%)	180 (2.7%)	-110	-37.9%
自己資本比率	22.0%	25%	25%	-	-
ROE	28.6%	20%以上	14.8%	-	-
1株あたり配当	20円	24円	24円	-	-
為替レート					
USD	144.6円	145.0円	145.0円 *1	*1 FY24下期計画レート	
EUR	156.8円	155.0円	155.0円 *1		

7. 24年度業績予想（修正）営業利益^(※)増減要因 Logisnext

- 北米での一部機種の出荷停止・代理店在庫調整の長期化による売上減、エンジン認証取得に係る一時費用、操業・工数悪化等による影響を、価格適正化や経費抑制でカバーしきれず、期初予想比で減益

(単位：億円)



(※) のれん等償却前営業利益

中期経営計画(FY24~FY26)

～ 私たちがお客様の物流シーンを変える、社会を変える、私たちも変わる ～

“Logisnext **Transform 2026**” (呼称、『LT26』)

基本戦略

産業車両領域での成長

- AI人検知システム 受注好調
- バッテリー車市場拡大を見据えた製品投入
- 国内向けLiB搭載バッテリー車 ラインアップ拡充

物流ソリューション事業の飛躍

- トラックへの荷積み自動化を実現
- 三菱重工業・キリングroupとの協業
- 顧客接点を活かしたビジネスパートナーとの協業活動
- Easy Layout Tool (ELT) によるソリューション提案の最適化
- MLFI*1製無人搬送車ACT デザイン・機能において高評価獲得

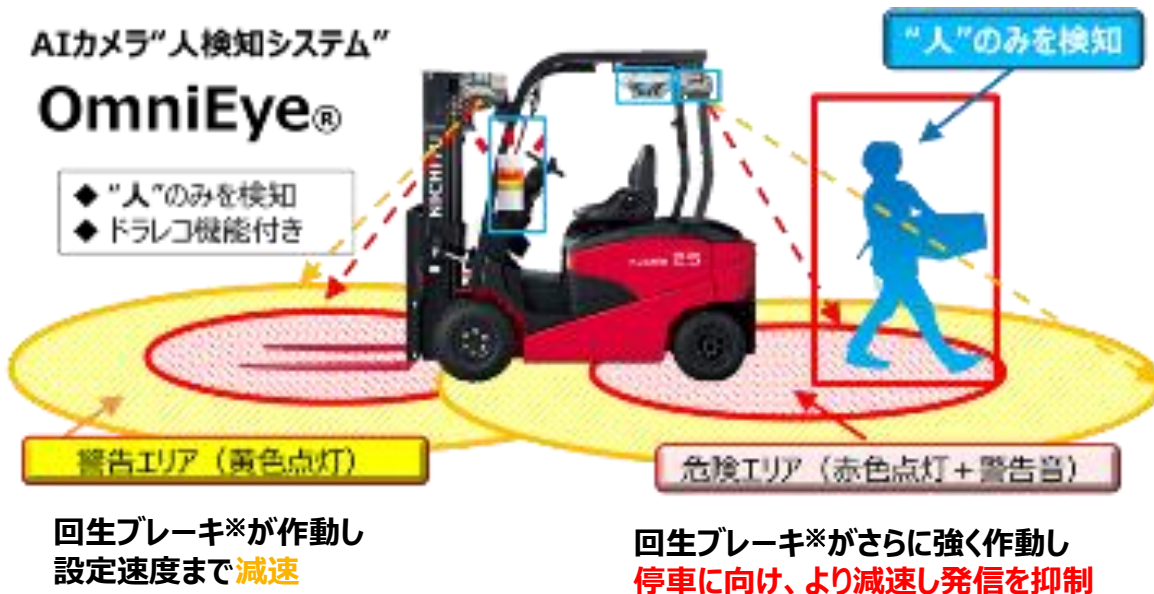
企業体質改善の継続と事業構造改革への挑戦

- 欧州工場再編 進捗状況
- 中国販売子会社の持分譲渡
- 『LT26』非財務目標に対する取り組み

安心・安全

AI人検知システム 受注好調

- 物流現場のあらゆるシーンでお客様の安心・安全をサポートする、レグラス社製のAIカメラである **OmniEye®**と、**回生ブレーキ制御***を組み合わせた**AI人検知システム**の受注が好調
- 今後も高まる安心・安全ニーズに対し、高付加価値製品の提供を推進する



AI人検知システムの特長

- AIによる人検知で見えにくい所をカバー。人検知後は回生ブレーキ*が作動し車両を減速、停車後は発進を抑制し、衝突事故防止をサポート
- 半球カメラが周囲360°の人を監視・検出。しゃがんでいる状態など様々な姿勢の「人」をAIが映像解析し検知
- 検出距離をレッド、イエローゾーンで設定可能

※バッテリー車は回生ブレーキ仕様、エンジン車は“回生ブレーキ”ではなく、エンジンブレーキが作動する“速度制限仕様”となっている

脱炭素

バッテリー車市場拡大を見据えた製品投入

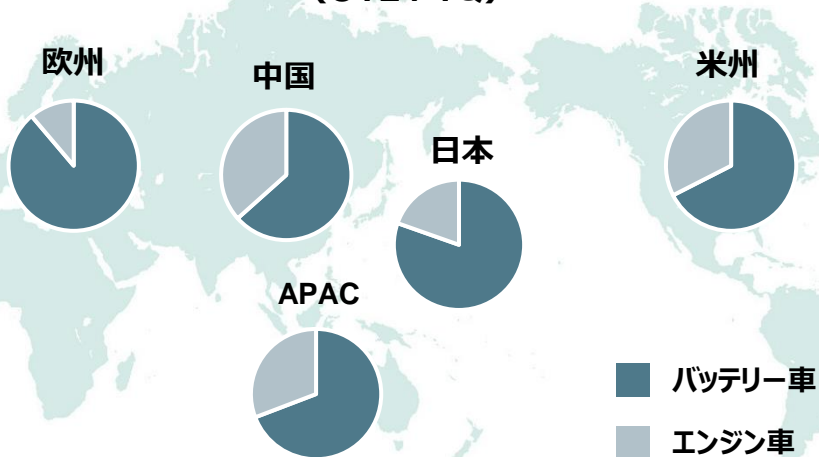
- 環境意識の高い顧客ニーズに応えるためバッテリー車ラインナップの拡充を推進、**中大型バッテリー車、エンジン車代替として次世代小型LiB搭載車を開発中**
- 新興国および先進国でも需要拡大基調の**低コストLiB搭載車を開発中**

脱炭素

国内向けLiB搭載バッテリー車ラインアップ拡充

- 脱炭素社会への移行に伴うバッテリー車シフトへ向け、**既存バッテリー車にLiB仕様を追加**
- LiB搭載により急速充電での作業効率改善及び、補水等のメンテナンス不要で運用コスト・環境リスク低減を可能とし、脱炭素社会の実現へ貢献する

フォークリフト市場におけるバッテリー車比率 (CY24-1Q)



ALESIS
Li-ION

カウンターバランスタイプ
バッテリーフォークリフト



PLATTER
Li-ION

リーチタイプ
バッテリーフォークリフト

1 1 . Topics 3 - 物流ソリューション事業の飛躍 Logisnext

自動化・
自律化

トラックへの荷積み自動化を実現

- 2022年より鴻池運輸株式会社と共同で実施していた無人フォークリフトを活用したトラックへの荷積み自動化システムの実証実験を完了し、2024年3月から実運用を開始
- **大型トラック1台に対し15分以内での積み込みを可能**とし、物流の2024年問題対応に貢献



積み込みの様子①



積み込みの様子②



積み込み後のトラック



綺麗に積み込まれた
パレット

- 所定の駐車スペースに止められたトラックに、AGF2台で積載を行う自動化システムを構築し、変化する積載位置に応じてAGFが自らの判断で最適に稼働

1 2. Topics 4 - 物流ソリューション事業の飛躍 Logisnext

自動化・自律化

三菱重工業・キリングroupとの協業 「自動ピッキングソリューション」を初受注

- 2022年11月より実施していた三菱重工業・キリングroupの共同実証を通じ、キリングroupから、ΣSynX*1による「自動ピッキングソリューション」を初受注
- キリングroup海老名物流センターに導入した後、2024年12月に本格稼働を開始する予定



キリングroupプロジスティクス
東日本支社湘南支店
海老名物流センター外観



共同実証の様子

自動化・自律化

顧客接点を活かした ビジネスパートナーとの協業活動

- 当社が強みとする顧客接点を最大限に活かした“つなぐ力・解決する力”の強化に向け、ビジネスパートナーとの積極的な協業を実施中
- ビジネスパートナーの製品を当社の販売網に取り込むことで、幅広いソリューション提案が可能となり、お客様が抱える人手不足という社会課題の解決に貢献

ラピータロボティクス(株)

- 自動フォークリフト「ラピータAFL」(右図)の国内販売協業を開始



Gaussy(株)

- 倉庫産業DXの実現をめざすGaussyとの資本提携契約を締結
- 倉庫ロボットの取り扱い拡大により、物流課題の解決に貢献



(株)eve autonomy

- 屋外対応型の無人搬送ソリューション「eve auto®」に関する販売協業を開始
- 屋内外両方の自動搬送ソリューションをワンストップで提供



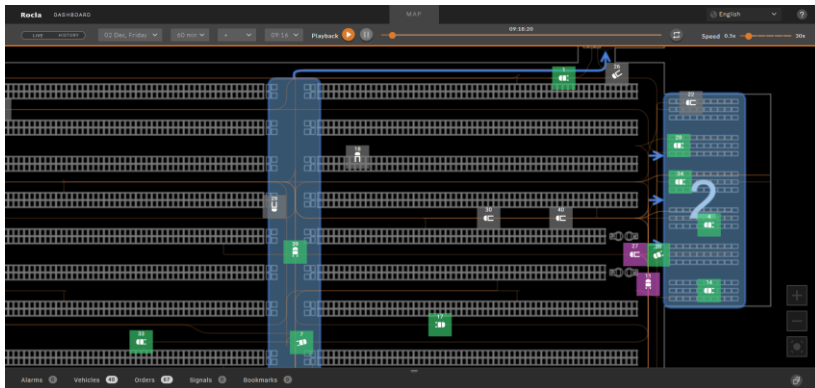
*1 ΣSynX(シグマシンクス) :さまざまな機械システムを同調・協調させる三菱重工業の標準プラットフォームであり、機械システムの知能化により最適運用を実現するデジタル・テクノロジーを集約したもの

1 3. Topics 5 - 物流ソリューション事業の飛躍 Logisnext

自動化・自律化

Easy Layout Tool (ELT) によるソリューション提案の最適化

- 物流ソリューションの販売での見積もり提供において、高精度な計算でソリューションの自動シミュレーションを行うELTシステムを欧州で開発
- ELTの活用により、従来経験豊富な技術者しかできなかった複雑なソリューションの見積もりを営業担当者でも簡単にシミュレーションが可能となり、ソリューション提案の最適化を実現。今後は全世界での展開を目指す



ELTによるシミュレーション画面

自動化・自律化

MLFI*1製無人搬送車ACTがデザイン・機能において高評価獲得

- 協働することをコンセプトにMLFIで設計されたACTは、2023年3月から受注を開始し、欧州をはじめ北米、アジアで販売中
- 24年4月にはプロダクトデザインが評価され、ドイツの「レッドドット・デザイン賞」、「iFデザイン賞」を受賞する等、世界的に有名な賞で高い評価を獲得。また、24年9月には機能が評価され、イギリスの「The Archies Award」を受賞



AGV機種 ACT



reddot winner 2024



ACTの特長

- 機動力に優れており限られたスペースでも重い荷物を効率よく搬送することが可能
- 360度監視システムや専用タッチスクリーンなど、安全で実用的な機能が数多く備わっている

欧州工場再編 進捗状況

- 23年8月にプレスリリースした欧州拠点のMLSE*1工場閉鎖については計画通りに進捗中で、**24年12月にMLFI*2工場への生産集約完了予定**
- MLSE主力機種のMLFIへの技術・生産移管等大きな問題なく進捗中



*1 MLSE: Mitsubishi Logisnext Europe AB
【スウェーデン製造開発拠点】

*2 MLFI: Mitsubishi Logisnext Europe Oy
【フィンランド製造開発拠点】

左図：MLSE外観

欧州工場再編の背景

欧州に3工場(フィンランド、スウェーデン、スペイン)を有しており、固定費削減・生産効率改善が課題であったため、その中で所在地が近く、生産機種が類似しているMLFI/MLSEの2工場を統合し、設備・人員を集約することを決定

中国販売子会社の持分譲渡

- 中国市場はローカルメーカーの台頭等により事業環境が大きく変化
- 中国国内販売事業再編による経営資源の選択と集中を図るため、当社が持つ**NIX*3の持分（100%）を取引関係にあるFLS*4へ譲渡**することを決定し、持分譲渡契約を締結
- 本持分譲渡後においても**FLSより中国国内向けにニチュブランド製品の販売を継続**する

譲渡の概要

相手先名称	佛朗斯(香港)有限公司 (FLS)
相手先の事業内容	物流機器及び部品販売
資本金	40 百万元
持分譲渡実行日	2024 年 8 月 31 日

*3 NIX: 力至優叉車（上海）有限公司【中国販売会社】

*4 FLS: 佛朗斯(香港)有限公司

脱炭素

『LT26』非財務目標に対する取り組み

- 『LT26』の非財務目標値達成を目指し、各指標に対する改善を進めている
- 働きがい改革を推進し、くるみんマークやえるぼしマーク、健康経営優良法人等の認定を取得

	指標	FY2023実績	『LT26』目標	取り組み	
脱炭素	Scope1,2	排出量削減率*1	-26%	-33%	-
	Scope3-⑪	排出量削減率*1	-11%	-29%	
働きがい	エンゲージメント・モチベーション	仕事のモチベーション 活性職場数	偏差値48 15職場	偏差値52 32職場	<ul style="list-style-type: none"> ・ くるみんマーク認定 ・ えるぼしマーク（2段階目）認定 ・ 「健康経営優良法人2024（大規模法人部門）」の認定
	働き方改革	有給休暇取得率	78.9%	80%	
	女性活躍推進	女性管理職比率 男性育休取得率	3.9%*2 68.6%	5% 60%	
	多様性の確保（採用）	女性採用比率 キャリア採用比率	23%*2 59.5%	30% 40%	
					*2 女性管理職比率・女性採用比率については2024年4月1日付データ

くるみんマーク

- 次世代育成支援対策推進法に基づき、仕事と育児の両立支援に関して一定の基準を満たした企業に与えられる証
- 2023年7月7日付で「子育てサポート企業」として厚生労働省からくるみんマークの認定を取得



えるぼしマーク

- 「女性の職業生活に関する法律」（女性活躍推進法）に基づき、女性活躍推進の取組みが優良な企業に与えられる認定
- 2024年8月5日付でえるぼしマーク(2段階目)の認定を取得



健康経営優良法人

- 経済産業省と日本健康会議が選定する、特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰する制度
- 2024年3月11日付で「健康経営優良法人2024（大規模法人部門）」の認定を取得



注意事項

- 本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料における将来予測に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
- 将来における弊社の業績が、現在の弊社の将来予測と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。
- 業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成しておりますが、弊社はその正確性、安全性を保証するものではありません。
- 本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、弊社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

本資料に関するお問い合わせ

三菱ロジスネクスト株式会社 経営戦略室 苅屋・光行

〒617-8585 京都府長岡京市東神足2-1-1

TEL : 075-956-4419 FAX : 075-955-8993

URL : www.logisnext.com

Logisnext

三菱ロジスネクスト